



岐阜北週報

11月 ロータリー財団月間

□ 題 字	岡田 一二三	□ 会 長	岡田 一二三	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	安藤 武司	2014-2015
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	谷田 育子	No.1562
		会報委員長	辻 博	14.11.19発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1561 回 例会 11/12 (水) クラブフォーラム (7) 100万\$ 担当：クラブ奉仕委員会	第 1562 回 例会 11/19 (水) クラブフォーラム (5) 講師：大橋地区担当委員様 担当：ロータリー財団委員会	第 1563 回 例会 11/26 (水) バズ例会 クラブフォーラム (8) 担当：会長・幹事

会長挨拶



先週の11月8日都ホテルにて第2回ロータリー財団研修セミナーが開催されました、ロータリーの補助金、地区補助金、グローバル補助金の活用方法の説明がございました。

今回グローバル補助金について重点的に説明がありました。

グローバル補助金とは

グローバル補助金は、6つの重点分野の一つまたは複数に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。

6つの重点分野

- ・平和と紛争予防／紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上

会長挨拶 続き

- ・経済と地域社会の発展

グローバル補助金の要件

- ・活動が実施される国と、それ以外の国の、2カ国のロータリー・クラブまたは地区による国際的な協同活動であること
- ・持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後にも成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること
- ・測定可能な目標を含んでおり、中間報告書で具体的な進捗が示せるものであること
- ・6つの重点分野のいずれかに該当すること
- ・地域社会のニーズに応えること
- ・ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること
- ・活動予算が最低30,000米ドルであること
- ・補助金の「授与と受諾の条件」に記載された要件を順守すること

グローバル補助金は、以下の活動に活用できます：

- ・人道的プロジェクト：一つまたは複数の重点分野の目標を支えるプロジェクト
- ・奨学金：一つまたは複数の重点分野と関連した大学院レベルの留学
- ・職業研修チーム（VTT）：専門職業に関係する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣

会長挨拶 続き

グローバル補助金の申請方法

グローバル補助金の申請は、年度を通じて随時受け付けられています。地区とクラブは、グローバル補助金を申請する前に、参加資格の認定を受ける必要があります。クラブと地区が認定されたら、オンラインツールを利用して補助金を申請できます。クラブがDDFを使ってグローバル補助金を申請する場合には、『グローバル補助金の申請に対するDDFの支給について』を参照の上、事前にプロジェクトの概要を記載した文書と共に地区財団委員会にご相談下さい。

グローバル補助金の資金源

グローバル補助金は、DDF（地区財団活動資金）または現金寄付に対するロータリー財団のWF（国際財団活動資金）からの上乗せ支給（マッチング）によって、資金が賄われます。WFからの上乗せは、DDFに対しては100%（同額）、現金寄付に対しては50%（半額）となります。WFからの上乗せ支給額は最低15,000米ドル、つまり、プロジェクトの最低予算は30,000米ドルとなります。



本日は山口会員の1941年5月10日（土曜日）誕生日の新聞をプレゼントします。

東京港が外国貿易港として開港

東京港（とうきょうこう）は、東京湾の中にある港の一つ。港湾管理者は東京都。港則法上では「京浜港東京区」といい、川崎港（京浜港川崎区）の北に隣接する。日本の主要な国際貿易港（五大港）のひとつで、港湾法上の国際戦略港湾の指定を川崎港および横浜港と共に受け、国土交通省よりスーパー中核港湾の指定を横浜港と共に受けている。関税法上の開港で貿易額は名古屋港に次ぎ国内第2位。1960年代末から顕在化した世界的なコンテナ化の潮流に国内港湾としていち早く対応、1998年から外貿コンテナ取扱個数で国内首位を維持

会長挨拶 続き

している。

関東大震災ののち港湾設備の重要性が認識され、1925年に日の出埠頭が完成、1941年に国際港としての東京港がオープンした。日本三大旅客港の一つに数えられる。

ロータリーの歴史はどうでしょうか。

RI13地区の大会が21か国政府を代表する関係者をロンドンに招待して教育文化交流機構について協議する会議を開催、これが後のユネスコとして成立する。

出席報告

会員数：34名
出席数：24/34名
出席率：70.59%
欠席者：10名（出席免除名3名 79.41%）

ニコニコBOX（敬称略）

安藤 武司：本日クラブフォーラムです ご協力の程お願いします。

片桐順一郎：今日も元気で出席出来ました。

若山 和正：昨日、奈良正倉院展に行き素晴らしい宝物を見ました。

西垣 康紀：次女が結婚しました。

一瀬喜美子：九日（日）揖斐川町の大イベントのいび川マラソンが有りアメリカ、ユタ州、セントジョージ市の市長を含む34人が来町され、教育関係の親子3人をボランティアで、ホストファミリーをして受け入れました。六日間お世話をして良い思い出を作りました。

臼井 毅子：安藤さんクラブフォーラム宜しくお願いします。

幹事報告事項（敬称略）

・谷田幹事

11月5日に11月度定例理事会が行われました。（書面にて報告）

例会行事（敬称略）

・クラブ奉仕委員会 安藤 武司委員長

本来、クラブフォーラムと言うものは、討論会とか、座談会、意見を述べ合う物らしいので

例会行事 続き

すが、本日は、ロータリークラブ会員調査に基づいて、討論をして頂きたいと思ひます。



MACROMILL
Institute of Marketing

ロータリークラブ会員様向け調査

資料を使って、説明、紹介を頂きました。

質疑応答

・森本会員 社会奉仕、国際奉仕等、財団資金の活用の為の申請がされていない。それは、費用の活用方法が難しい為だと思います。費用を活用するためには、前の年の事業計画が成されていないと、申請出来ない制度の為、今何かをしようにも活用することが出来ないことに成ります。

当クラブでも、財団資金の活用について、事前に説明を受けて、自分の委員会で活用方法をしっかりと考えていけたらよいと思ひます。

・原尾会員 森本さんの話に付いて、委員長が毎年変わってしまう為、何も出来ないと言うのが現実で、出来れば、国際奉仕、社会奉仕等は、委員長に成ったら2年～3年間は続けてやった方が指名された方もやり易いし、前の年に計画し翌年実行するが出来ると思ひます。

・山口会員 先日のセミナーの中で、財団のお金は、単年計画で使用するもので、来年のものは、この11月に計画を提出するよう説明がありました。その説明を現会長では無く次期会長（委員長）が受けた方が、良いと思ひます。

次回例会のご案内

第1563回 例会 11月26日（水）
バズ例会
クラブフォーラム（8）

担当者：会長・幹事

会報・広報 11月担当 林 隆行